



西春近北保育園 からこんにちは

回覧

令和7年
NO.2

西春近のみなさまこんにちは。日頃から保育園の子どもたちのことを温かく見守っていただき、ありがとうございます。

雪のたよりを耳にする季節となりましたが、いかがお過ごしでしょうか。保育園の子どもたちは秋の運動会で楽しんだ「リレー」を異年齢で今も楽しんでいます。小さな子が大きな子へ一生懸命バトンをつないだり、大きな子が小さな子を励ましたりする微笑ましい姿がたくさん見られます。園目標でもある「心も体も元気な子」が遊びの中で育まれていることを感じます。



地域の方のお力をお借りして・・・

子どもたちの様々な力は、お家の方や友だち、保育士の中だけでなく、地域の方と関わる中で育まれていくものもあります。今回はいくつかの取り組みを紹介します。

木育

11月18日(火)に伊那市の木工体験活動として、市内の木工職人さん7名の方に来ていただきました。いろいろな形の木片や木の実を見て自分の作りたいものをイメージし、職人さんに相談し、電動のこぎりで切ってもらったり、グルーガンで貼り合わせてもらったりして形にしていきました。



どれを組み合わせようか考え中



形になってきました



子どもたちの発想力はやっぱりすごい！

読育

月に一度、地域の読み聞かせボランティアの方から絵本の読み聞かせをしていただいています。子どもたちはとても楽しみにしていて、朝のひととき、絵本にじっくり見入っています。



(裏面へつづく)

食育

毎年、青壮年部のみなさんと一緒に、食育活動として「稲作り」をさせていただいています。春、代掻き前の田んぼでどろんこ遊び。その後、稲の植え方を丁寧に教えていただき田植えをしました。秋には稲刈りのお手伝いをし、餅米を収穫。「虹の子米」と名付けられたこの餅米を使って、11月に収穫祭としてみんなでお餅つきをしました。とってもおいしかったです！

自分が食べているお米が、たくさんの時間と手間をかけてできていることを、この体験を通して学んだ子どもたちです。



体中でドロドロの感触を楽しんでいます。

「田植えは大変だあ」

時々、園庭から稲を観察しました

「よしよ、よしよ！」



かけ声と力を合わせてお餅つき



「のり醤油味が一番おいしい！」



クッキング活動の際は民生委員さんにもお手伝いいただいています。

保育園では、実際に見て、触れて感じる「実体験」を大切にしています。子どもたちの豊かな感性や生きる力を育むためには、地域社会という生きた教材が必要です。ここにご紹介した取り組みだけでなく、散歩の時などのお声かけなど、皆さまのお力添えのおかげで、子どもたちは安全で貴重な体験を積み重ねることができています。今後とも、地域の中で子どもたちの成長を一緒に見守っていただけますよう、よろしくお願いいたします。



冬でも
元気
いっぱい
西春近北保育園



子どもたちの元気な声が地域の皆さまの笑顔につながるよう、職員一同努めてまいります。何かございましたら、ご遠慮なく園までお声がけください。

西春近北保育園
〒396 - 4431
伊那市西春近村岡 199
TEL 72 - 3263
(担当 伊藤)